

ジェネリック医薬品の普及啓発活動状況

健康保険組合連合会福岡連合会

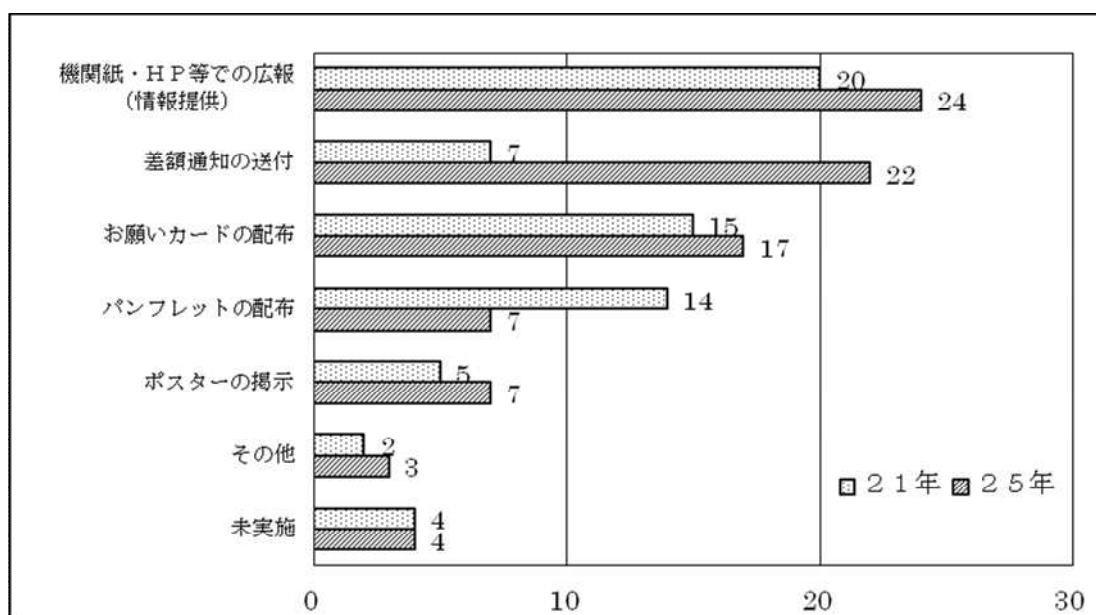
I. ジェネリック医薬品普及促進の取り組み状況について

1. 取り組み状況調査（アンケート形式）

<調査時期>	<対象数>	<回答数>
平成 21 年 5 月	36 組合	29 組合
平成 25 年 12 月	32 組合	32 組合

2. 集計結果

[1] 使用促進の取り組み内容（複数回答可）

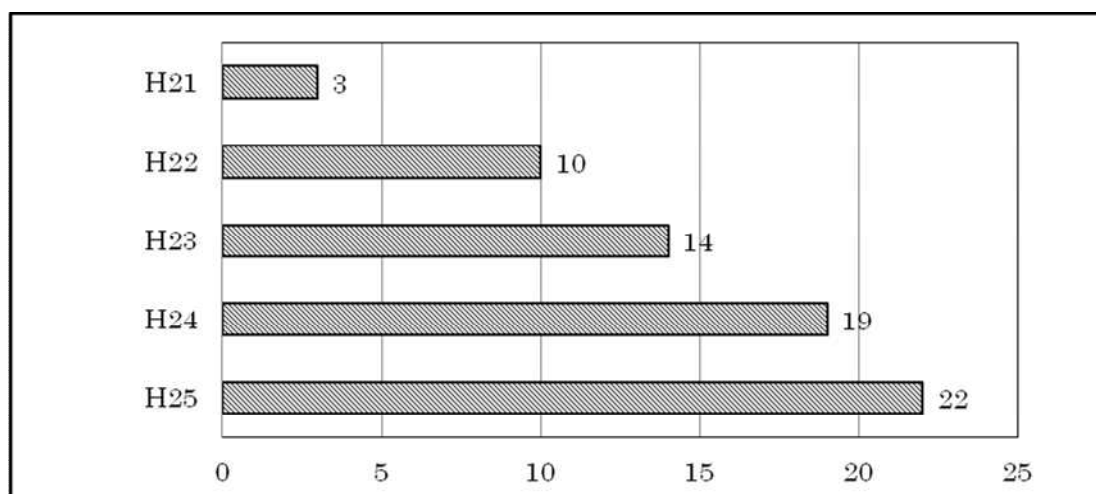


「その他」の回答

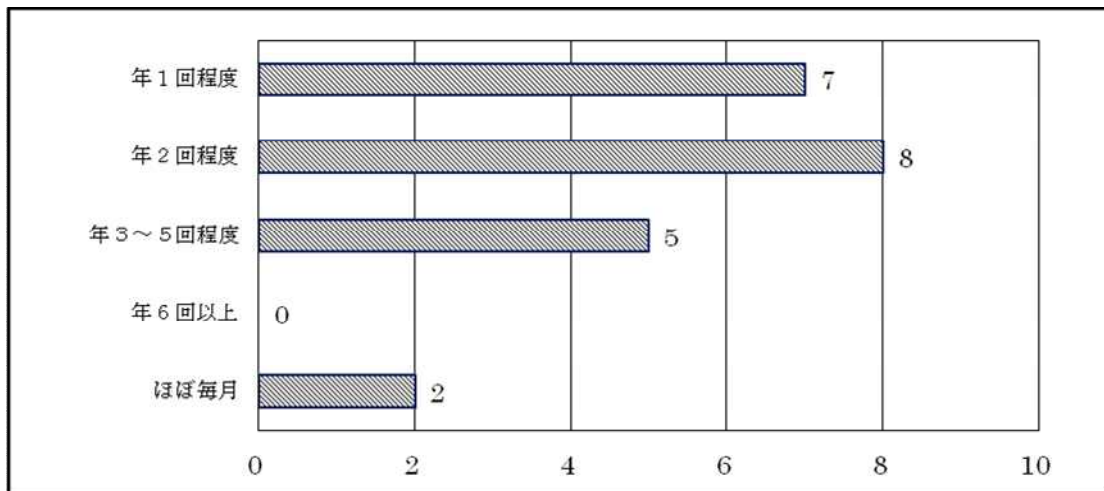
- ①保険証、お薬手帳に貼付するお願い（希望）シール 2 組合
- ②差額通知発行者で未変更者に対するアンケート調査

[2] 差額通知について

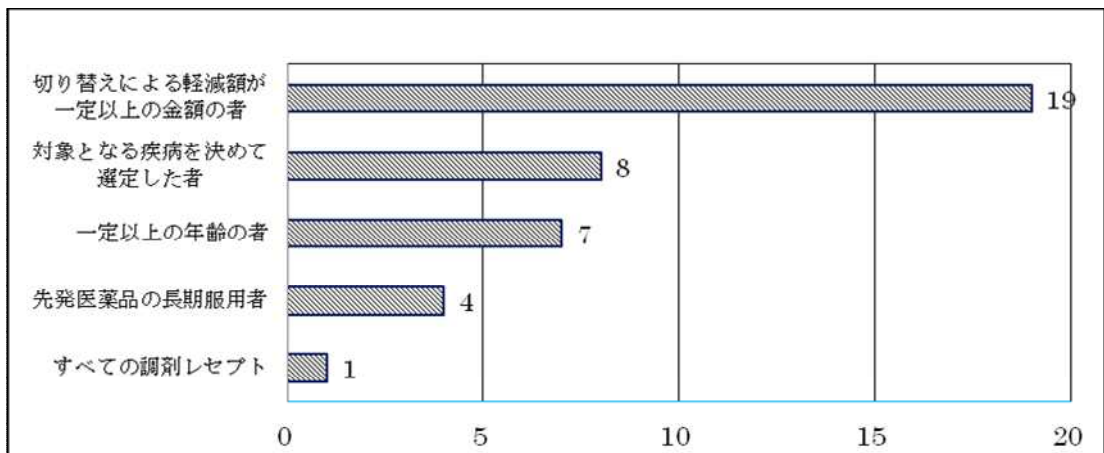
① 差額通知実施組合数



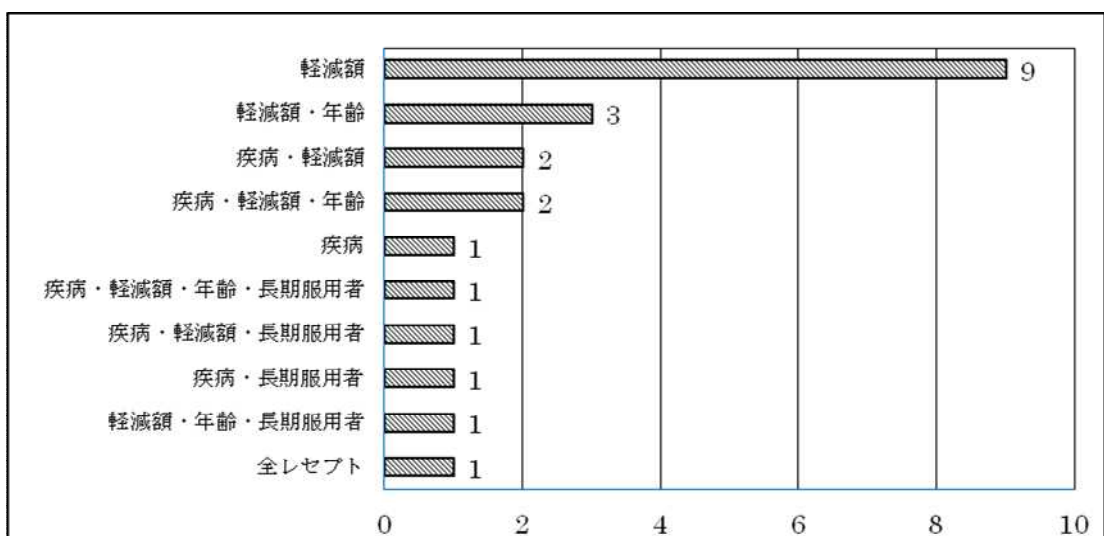
②発行頻度



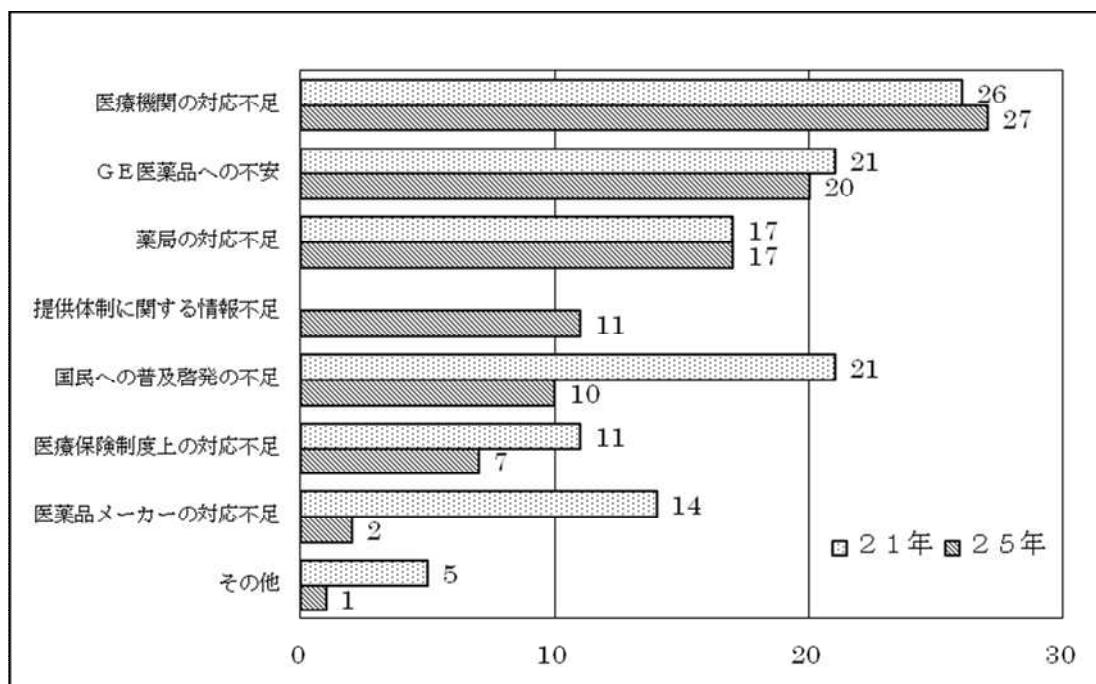
③発行基準（複数回答可）



④発行基準の組み合わせ



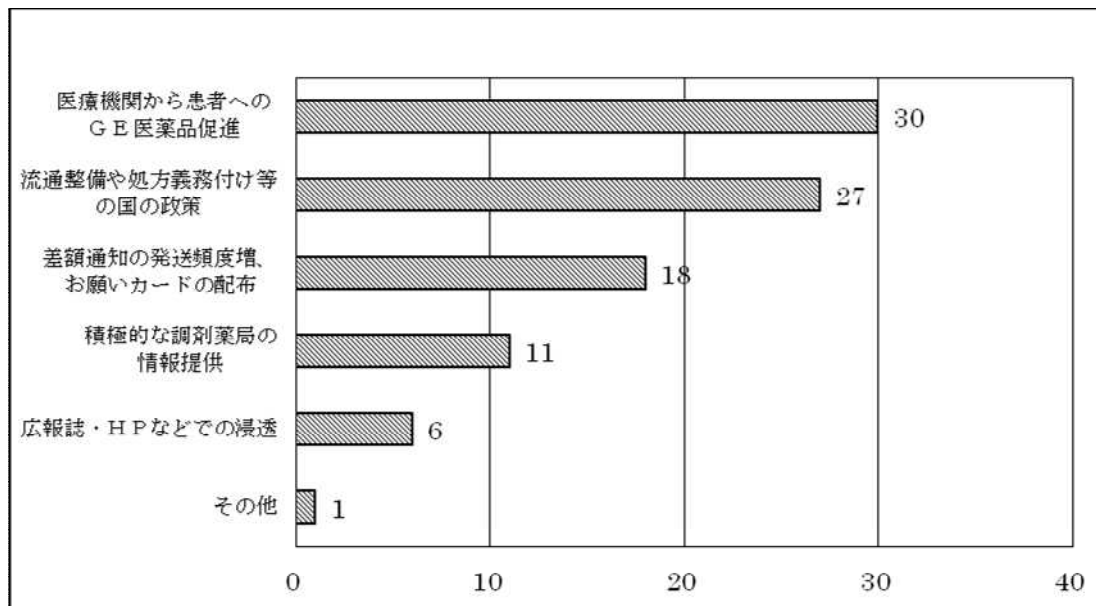
[3]ジェネリック医薬品普及促進の阻害要因（複数回答可）



「その他」の回答

患者が医師に気兼ねしている

[4]使用促進に大きな効果が期待できる取り組み



「その他」の回答

調剤薬局窓口での先発医薬品との価格差額の提示

II. ジェネリック医薬品普及率について

1. 調査方法

- ・ 健保連本部に提供された各組合からのレセプト情報をもとに、データ分析ツールを使用して福岡連合会で普及率を計算
- ・ 本部に情報を提供した組合数

年 度	平成22年	平成23年	平成24年
組 合 数	15	15	13
うち差額通知 発行組合数	6	8	9

- ・ 金額ベースで計算

$$\text{後発医薬品金額} \div (\text{先発医薬品金額} + \text{後発医薬品金額}) \times 100$$

◇情報提供組合

(単位 千円)

年 度	先発医薬品	後発医薬品	計	普及率
平成22年	705,278	153,014	858,292	17.8%
平成23年	875,915	209,080	1,084,995	19.3%
平成24年	813,446	210,962	1,024,408	20.6%

◇差額通知発行組合

(単位 千円)

年 度	先発医薬品	後発医薬品	計	普及率
平成22年	192,087	37,964	230,051	16.5%
平成23年	484,386	112,574	596,960	18.9%
平成24年	560,279	139,982	700,260	20.0%

◇差額通知発行組合の取り組み事例

- ・ 導入時期 平成22年から実施
- ・ 発行方法 外部委託
- ・ 発行頻度 年間3～5回
- ・ 対象者 軽減額が一定以上・一定の年齢以上
- ・ 特 徴 自宅周辺の積極的に処方している調剤薬局の情報を同封

普及率	数量ベース	28.0%
	金額ベース	20.3%

Ⅲ. ジェネリック医薬品普及促進に関する意見・要望

<医療機関・調剤薬局への要望>

- ・ かかりつけ医への GE 医薬品の処方促進
- ・ GE 変更可能な場合は、積極的に医師から患者に説明して欲しい。医師から話してもらおうと説得力がある。
- ・ どの薬局でも GE の提供ができるように供給体制を整えて欲しい。

<健保連等への要望>

①促進ツール等

- ・ GE 医薬品「お願いシール（カード）」の無償配布
- ・ 保険証に貼付できる「お願いシール」を普及のためツールとして提供・配布をお願いしたい。
- ・ 統一システムの開発・提供（差額通知書発行など）

②研修会・講習会等

- ・ GE 医薬品使用促進に関する研修会（方法、効果、問題点）
- ・ 促進に関する研修会の実施（費用対効果、事務作業事例、メリットとデメリット、課題）
- ・ 国としての政策に関する情報提供
- ・ 健保加入者を対象とした GE に関するセミナー開催

<その他>

- ・ GE をみんなで使えば医療費削減になり、自分たちが納める保険料も安くなるはず。それにはデータで示して、情報提供していくのがいいのでは。
- ・ 健保組合によって取り組むスタンスが異なるため、要望は特になし。ポスター等の啓蒙活動に役立つ情報提供を引き続き提供してほしい。